

2026年6月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ビューティカダンホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 舛田正一
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経営管理本部長（氏名） 三島まりこ (TEL) 096-370-0004
 半期報告書提出予定日 2026年2月13日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年7月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期中間期	3,785	△2.5	△70	—	△72	—	△77	—
2025年6月期中間期	3,880	9.1	△39	—	△33	—	△32	—

(注) 包括利益 2026年6月期中間期 △77百万円(—%) 2025年6月期中間期 △32百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期中間期	△18.84	—
2025年6月期中間期	△8.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期中間期	2,745	514	18.7
2025年6月期	2,897	610	21.1

(参考) 自己資本 2026年6月期中間期 514百万円 2025年6月期 610百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	5.25	5.25
2026年6月期	—	0.00	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	—	—	5.25	5.25

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	7,700	1.3	120	—	75	—	40	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年6月期中間期	5,076,000株	2025年6月期	5,076,000株
2026年6月期中間期	975,252株	2025年6月期	981,152株
2026年6月期中間期	4,100,074株	2025年6月期中間期	4,068,296株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年7月1日から2025年12月31日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移し、企業の設備投資にも持ち直しの動きが見られるなど、内需を中心に緩やかな回復基調が続きました。一方で、資源価格の高止まりや円安の進行による輸入物価上昇に加え、金融政策の正常化を巡る不確実性などから、物価動向や企業収益への影響が懸念され、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

花き業界においては、冠婚葬祭分野を中心に需要回復の動きが続く一方で、国内生産者の減少や物流費の上昇、資材価格の高止まりなど、供給面での制約が続いております。また、為替変動の影響により輸入花材の価格が高止まりし、仕入コスト上昇が業界全体の収益を圧迫しました。同分野では、少人数化や高付加価値化など顧客ニーズの変化が進展しており、当社グループにおいても市場環境の変化を踏まえた事業運営を進めております。

このような事業環境のもと、当社グループは、中期経営計画に掲げる「グループ収益力の強化とサステナビリティ経営の推進による企業価値向上」を基本方針として、経営基盤の強化、各事業の収益性向上、持続的な成長に向けた体制整備に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間における当社グループの売上高は、新たに肥料製造販売事業の売上が加わったものの、2025年6月30日付でシステム開発事業を譲渡したことにより当該事業分の売上が減少し、全体としては3,785,524千円(前年同期比2.5%減)となりました。営業損失は、70,396千円(前年同期は39,162千円の損失)、経常損失は72,206千円(前年同期は33,507千円の損失)、親会社株主に帰属する中間純損失は、77,258千円(前年同期は32,900千円の損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、1,998,660千円(前年同期比0.6%増)となりました。当社の取扱実績によりますと、施行件数は前年並みで推移し、祭壇単価は地域や時期により増減が見られたものの、秋口以降は一部エリアにおいて需要の持ち直しが見られました。なお、葬儀業に関する公的統計は前期をもって公表が終了しており、現時点では新たな統計データが存在しないため、当社では自社実績をもとに業界動向を把握しております。葬儀業界では、小規模葬儀の定着や葬儀形式の多様化が進む一方で、演出性や花装飾に一定の需要が見られるものの、葬儀単価は全国的に緩やかな下落傾向にあります。

このような環境のもと、当社では葬儀の小型化・多様化に対応したサービス提供を進めるとともに、地域特性に応じた事業運営やコスト管理に取り組んでまいりました。

その結果、花材価格や人件費の上昇、繁忙期対応に伴うコスト増加の影響を受け、営業利益は60,455千円(前年同期比36.9%減)となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業は、100%子会社であるマイ・サクセス株式会社において、これまで進めてきた業務効率化に加え、当社グループとしての競争力強化を図っております。

当期は、冠婚葬祭分野を中心に需要回復の動きが継続し、取扱数量は概ね前年水準を維持しました。一方で、天候要因や市場流通量の減少、需要低迷による販売単価の下落に加え、仕入価格や物流費の上昇などの影響を受けました。

この結果、売上高は1,414,433千円(前年同期比0.9%減)となりました。営業利益は、仕入・販売両面での効率化や物流体制の見直しを進めたものの、販売単価の下落やコスト上昇の影響を吸収しきれず、前年を大きく下回る8,765千円(前年同期比78.9%減)となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、157,529千円(前年同期比10.3%減)となりました。少子化による婚姻件数の減少を背景に、ブライダル市場全体の規模は概ね横ばいで推移しております。一方で、少人数・低価格志向の広がり、高付加価値・パーソナライズ志向の高まりによる二極化が進んでおり、晩婚化に伴う単価上昇やオリジナル挙式への需要を背景に、一定の需要は維持されております。

同事業では、前年の高水準からの反動に加え、一部主要会場における受注減や新規取引先の稼働遅れ等の影響により、施行件数は前年を下回って推移しました。一方で、施行件数は前年を下回って推移したものの、1件あたりの売上水準は前年を上回って推移し、また施行に付随する売上も一定程度寄与したことから、売上の減少幅は一定の範囲にとどまりました。

また、原価や人件費の高止まりが続く中においても、原価管理の徹底や業務効率化の取組が奏功し、営業利益は1,205千円(前年同期は9,535千円の損失)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業、農業、レストラン事業、肥料製造販売を行っております。

当中間連結会計期間においては、2025年6月30日付でシステム開発事業を譲渡したことにより当該事業分の売上が減少した一方、前期に売上計上のなかった肥料製造販売の売上が新たに加わりました。これらの結果売上高は214,901千円(前年同期比26.2%減)、利益面では、システム開発事業の譲渡により同事業に係る赤字が解消された一方、農業部門においては連作障害の影響が引き続き発生しました。しかしながら、レストラン事業、肥料製造販売事業等を含むその他の各事業は概ね増益基調で推移したことから、営業損失は25,176千円(前年同期は38,240千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ151,768千円減少し、2,745,796千円となりました。これは主に商品の減少によるものであります。

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ55,661千円減少し、2,231,602千円となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ96,016千円減少し、514,193千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の通期の業績予想につきましては、2025年8月14日に公表いたしました連結業績予想から、現時点においては変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,219,870	853,940
売掛金	581,333	814,074
商品	24,369	15,457
仕掛品	1,506	670
原材料及び貯蔵品	47,208	65,524
その他	99,858	76,650
貸倒引当金	△8,188	△12,348
流動資産合計	1,965,958	1,813,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	665,437	680,230
減価償却累計額	△337,621	△357,318
建物及び構築物(純額)	327,815	322,911
車両運搬具	28,298	29,208
減価償却累計額	△26,103	△26,994
車両運搬具(純額)	2,194	2,214
工具、器具及び備品	155,745	169,571
減価償却累計額	△135,440	△138,724
工具、器具及び備品(純額)	20,305	30,847
土地	223,479	223,479
その他	17,139	18,965
減価償却累計額	△13,712	△14,245
その他(純額)	3,426	4,720
有形固定資産合計	577,221	584,172
無形固定資産		
ソフトウェア	47,393	42,372
のれん	22,766	21,446
無形固定資産合計	70,160	63,818
投資その他の資産		
差入保証金	61,915	60,438
繰延税金資産	7,045	7,045
保険積立金	192,841	192,863
破産更生債権等	15,378	17,809
その他	13,723	13,700
貸倒引当金	△15,510	△15,341
投資その他の資産合計	275,394	276,515
固定資産合計	922,775	924,506
繰延資産		
開業費	8,830	7,320
繰延資産合計	8,830	7,320
資産合計	2,897,564	2,745,796

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	207,737	388,561
短期借入金	530,000	530,000
1年内返済予定の長期借入金	198,215	198,465
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	148,128	74,973
未払法人税等	33,061	6,211
未払費用	75,460	95,401
賞与引当金	210	835
資産除去債務	10,000	10,000
その他	133,199	74,311
流動負債合計	1,356,013	1,398,760
固定負債		
社債	40,000	30,000
長期借入金	765,007	672,788
リース債務	36,225	41,779
退職給付に係る負債	71,511	69,769
資産除去債務	18,505	18,505
固定負債合計	931,250	832,842
負債合計	2,287,264	2,231,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	158,625	159,960
利益剰余金	456,956	358,201
自己株式	△218,522	△217,208
株主資本合計	610,300	514,193
純資産合計	610,300	514,193
負債純資産合計	2,897,564	2,745,796

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
売上高	3,880,857	3,785,524
売上原価	3,428,239	3,420,828
売上総利益	452,617	364,695
販売費及び一般管理費	491,780	435,091
営業損失(△)	△39,162	△70,396
営業外収益		
受取利息及び配当金	103	725
為替差益	3,218	-
受取賃貸料	677	677
補助金収入	1,932	865
その他	7,620	9,031
営業外収益合計	13,552	11,299
営業外費用		
支払利息	7,399	10,214
為替差損	-	1,369
その他	498	1,526
営業外費用合計	7,897	13,110
経常損失(△)	△33,507	△72,206
特別利益		
固定資産売却益	-	49
負ののれん発生益	15,918	-
特別利益合計	15,918	49
税金等調整前中間純損失(△)	△17,588	△72,156
法人税、住民税及び事業税	11,529	5,101
法人税等調整額	3,782	-
法人税等合計	15,311	5,101
中間純損失(△)	△32,900	△77,258
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△32,900	△77,258

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)
中間純損失(△)	△32,900	△77,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	-
その他の包括利益合計	△32	-
中間包括利益	△32,932	△77,258
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△32,932	△77,258

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

1. 配当金支払額

決 議	株式の 種 類	配当金の 総額(千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年9月25日 定時株主総会	普通株式	16,229	4.00	2024年6月30日	2024年9月26日	利益剰余金

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)

1. 配当金支払額

決 議	株式の 種 類	配当金の 総額(千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年9月29日 定時株主総会	普通株式	21,497	5.25	2025年6月30日	2025年9月30日	利益剰余金

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年7月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル装 花事業	計			
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	1,987,030	1,427,196	175,526	3,589,753	291,103	—	3,880,857
外部顧客への売上高	1,987,030	1,427,196	175,526	3,589,753	291,103	—	3,880,857
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,782	614,210	1,470	619,463	6,020	△625,484	—
計	1,990,812	2,041,406	176,997	4,209,217	297,124	△625,484	3,880,857
セグメント利益又は 損失(△)	95,758	41,593	△9,535	127,817	△38,240	△128,739	△39,162

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業、農業並びに飲食事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△128,739千円には、セグメント間取引消去△15,442千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△113,296千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル装 花事業	計			
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	1,998,660	1,414,433	157,529	3,570,623	214,901	—	3,785,524
外部顧客への売上高	1,998,660	1,414,433	157,529	3,570,623	214,901	—	3,785,524
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,350	539,770	1,037	544,158	10,443	△554,602	—
計	2,002,010	1,954,204	158,567	4,114,781	225,344	△554,602	3,785,524
セグメント利益又は 損失(△)	60,455	8,765	1,205	70,426	△25,176	△115,646	△70,396

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業、農業、飲食事業並びに肥料製造販売であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△115,646千円には、セグメント間取引消去30,074千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△145,720千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。